

都立東村山西高等学校 グランドデザイン（2022.4～）

【生徒／学校の現状】
 学習 ・課題や宿題などの提出率は高く、授業に真面目に取り組む姿勢がある
 ・読書、文章記述、ディスカッションなどの言語活動が苦手な生徒がいる
 生活 ・行事には熱心に取り組む
 ・基本的な生活習慣と規範意識は比較的定着している
 進路 ・生徒の進路は上級学校進学を中心（大学40％・専門学校45％）として多岐にわたっているが、進路に対する取組はのんびりしている
 ・就職者は1割程度が公務員
 ・一般受験よりも指定校推薦・AO等の推薦を選ぶ生徒が多い

【教育目標】
 ○自らの将来を切り拓く
 ○自らの責任で判断し行動する
 ○心豊かに他者と協働する

《校訓》 ○開拓 ○自立 ○協和

【予想される社会の変化】
 生産年齢人口の減少、グローバル化や絶え間ない技術革新の進展により、社会構造や雇用環境は変化し続ける。自ら情報収集、判断、協働する力の重要性が増す

【学校像/学校経営計画】
 ○本校に入学し、卒業して良かったと生徒、保護者が実感できる学校
 ○地域・保護者から信頼され、生徒・教職員が愛校心と誇りを持つ学校
 ○生徒の自己実現と進路希望を実現させる学校
 ○いじめや体罰等、暴力のない、生徒が安心して通える安全な学校

【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）

未来を描け、自分をつくれ〔自ら考え、行動できる人〕

進路希望を実現できる力と意欲を引き出す教育

【卒業時に身につけさせたい力】「将来ビジョンを語れる」生徒の育成

①自分の強みを見つけ、伸ばす力（強みの伸長）
 ②目標を自ら設定し、計画を立て実行する力（計画実行力）
 ③協働し、最後まで取り組む力（協働グリット）
 ④思いを言葉にする力（思考の言語化）

【3つの柱での共通目標】「思考サイクルの促進※に努める」

①授業：いかに魅力的な授業を行い、基礎学力を定着させるか
 ②行事：いかに生徒の主体的な活動を育て、挑戦を促すことができるか
 ③探究進路：いかに主体的な進路選択と妥協しない進路実現ができるか

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力		L1	L2	L3	授業	行事	探究
授業・行事・探究進路	自分の強みを見つけ、伸ばす力 <small>知識・技能</small>	自らの興味・関心や特性を大まかに理解している。	自らの興味・関心のある分野や特性を深めたり、伸ばしたりする手立てが具体的にある。	自らの強みを伸ばすために、必要な知識・技能を習得し、自らの変容がわかる。	◎	○	◎
	目標を自ら設定し、計画を立て実行する力 <small>思考・判断・表現</small>	目標のイメージを持つことができる。 「あーいうふうになりたい！」	実現可能で具体的な目標を設定することができる。目標を達成するために必要な課題がなにか理解し、逆算して計画を立てることができる。 あーなるために「いつまでに○」ができ、「いつまでに▽」ができると良いのね。	自ら立てた計画を、実際の進捗状況と比べて修正しながら実行し、達成することができる。 計画より遅れているから、○○を急がなきゃ…等	○	◎	◎
	協働し、最後まで取り組む力 <small>学びへ向かう力・人間性</small>	集団の中で自らのできることはなにか、理解している。 私は○○をやることでみんなに協力できそう！	集団の中で自らの役割を理解し、他者の取り組みを意識しながら、自らの役割に取り組むことができる。 私はみんなの目標のなかで、やるべきことはわかっているし、最後までやりきったぞ。	他者の力を引き出ししたり、取り組みをまとめたりしながら、自らの取り組みと融合させ、集団の視点で課題を解決することができる。 自分たちの目標を達成できるかなあ。今何が足りないんだろう？ねえ、これしようよ！	◎	◎	◎
	思いを言葉にする力 <small>思考・判断・表現</small>	自らの考えたことを自分の中で整理したり、情報を集めて整理・分析したりする方法を理解している。 Word、Excel、ポートフォリオでのクラッシーやスタディサプリ、思考ツール※、パワーポイントという方法やどうしたら考えや調べた事をまとめられるか知っている。	自らの考えたことや集めた情報を用いて、まとまりのある文章を書いたり、発表したりすることができる。 自分で考えていることを文章に書ける、人に話せる、または表現できる	自らの考えたことや集めた情報を用いて、まとめたものを、他者を意識して、論理的に書いたり、発表したりすることができる。 相手に考えを正確に伝えるように話す（書く、表現する）	◎	○	◎
	基礎学力 <small>知識・技能</small>	学習において、自らの苦手なことや、わからない分野がなにか、理解している。 中学校までの範囲で何がわからないかわかってる	自らの苦手なことや、わからない分野に関して、自らの又ケモシの学習を行い、修得することができる。 苦手なところを勉強できる	高校における履修事項の定着の重要性を理解し、主体的に学習に取り組み、発展的な学びへ繋げることができる。 授業の内容を自分でさらに深く勉強する	◎	△	△

目指すべき生徒の将来像

未来を描け、自分をつくれ〔自ら考え、行動できる人〕

※ 思考サイクル（インプット-思考判断-アウトプット）の促進

「考えること」を教え、習慣化する。教職員は教育機会の様々な場面で「問いかけ」を重視し、生徒に思考サイクルを促す。

思考サイクルを回す

